

学校給食の現状

給食は、子ども達にとって大好きな時間で、何を食べられるのか楽しみな時間です。では、給食に関わる疑問や給食費未納問題、アレルギー対策、センター方式とは、今後の方向性等についてふれてみましょう。

1 給食費はなぜ安いのか

- (1) 国（文科省）からおおよそ2分の1の国庫補助を得ているため、保護者負担はおおよそ半額となっています。
- (2) 人件費・光熱費・施設管理費等は自治体（市町村）が負担するため、保護者負担は食材費のみとなります。（学校給食法）
- (3) 牛乳についても、国（農水省）から補助が出ています。
- (4) 1食平均300円前後です。（外食したら600円程度の定食並みか）
- (5) 配膳も子ども達がやるので人件費いらず。

2 牛乳はなぜ必ずつくのか

和食のメニューの時も必ず牛乳がついて、不自然な感じを持っている人もいるかと思いますが、これには次のような理由があります。

- (1) 「完全給食」とは ①パン・又は米飯 ②おかず ③ミルクである給食をいう。と法により定められているためです。（学校給食法施行規則）

したがって牛乳は3点セットの1つになっているので外せないのです。

- (2) 牛乳には良質なカルシウムがたくさん含まれ、それが消化される途中で、他の食物にあるカルシウムの吸収率も高める働きがあり、成長期の小・中・高生の骨量の比較結果により、牛乳摂取量が多いほど骨量が多いということが立証されているそうです。



3 検食とは何か

給食の安全性を確認するために、子ども達が食べる30分前までに食べることです。食べる担当は、主に校長先生です。（出張などで不在の場合は教頭先生等）
食べたら検食簿に、検食時間、異物混入、異味、異臭、加熱・冷却処理が適切か、味付け・香り・色彩・形態が適切か、子ども達の嗜好が考慮されているか等を記録します。
異常があった場合には、給食を中止するとともに、速やかに調理場に連絡をする。

4 保護者は食べられないのか

児童生徒と教職員のための給食制度なので、原則食べられません。
ただし栄養士が講師となつての試食会という形なら給食代を払うことで可能です。
どこかの学年が遠足や校外学習で、食器が空いている時に実施可能です。

5 行き過ぎた指導

本来給食は和やかで楽しく会食する時間なのに、教師の行き過ぎた指導により、問題になることがある。

(1) 行き過ぎた完食指導

給食の完食を目指すあまり、子どもに無理強いしてしまう。完食するまで昼休みを与えない。(友達は楽しそうに遊んでいるのに自分は遊べない。この繰り返りで給食が嫌いになり、大人になってからもトラウマとして残ることがある)

(2) 授業を優先して給食は後回し

4時間目の授業をきりのいいところまで終わらせようとして長引いてしまい、他のクラスは食べ始めているのにまだ授業が終わらない。やっと給食になって食べ終わったときには昼休みが終わっていた。あるいは4時間目に長々と説教をしていて給食開始が遅れたとか。(4時間目をいかに定時に終わらせるかは、授業者の手腕。自分の至らなさで子どもの時間を奪ってはいけない)

6 給食費の未納問題

給食費の未納はどの学校にもあります。未納の回収で最も苦勞しているのは学校現場の担当者です。ではどのような現状なのでしょうか。

(1) 未納の理由

- ① 経済的な困窮による。
- ② 払うとは言うものの、実際はその意志がなく、逃げ続ける。
- ③ 義務教育だから、払う必要はないと拒否する。

(2) 集金の方法

- ① 銀行口座引き落とし。(この方式をとっている学校が多い)
- ② 手集金。(封筒に現金を入れて子どもが担任に渡す → 職員が銀行へ入金)

👤 両者を比較すると、手集金の方が未納が少なく、回収率が良い。理由は、推測ではあるが、口座引き落としは、誰の目にも触れずプライバシーは守られるのに対し、手集金は、学校で集金の確認作業をするのはPTA役員がお手伝いをすることが多いので、複数の人の目にとまるからではないかと私は思っています。

(3) 督促の方法

- ① 学校から子どもを通じて督促の手紙を渡す。(他の子にはわからないように)
- ② 電話で保護者に連絡をする。(学校からとわかると、最初から電話には出ない)
- ③ 家庭訪問をして取り立てる。(なかなか会えない)
- ④ 保護者の面談の日に合わせて担当が面談をする。(廊下の途中で逃げられる)

(4) 取り立ての苦勞

何ヶ月も滞納が続いている家庭には、家庭訪問をして納入のお願いをするが、その時の保護者の対応には、いろいろある。

- ① 「すみません、明日持たせますから。」…（しかし翌日は持ってこない）
- ② 「今これだけありますから、残りは後日に。」…（待てども音沙汰なし）
- ③ 「あ～、私はこの家の人間ではないんですよ、知人です。」
- ④ 「今主人がいないんで。」「いつ頃帰られますか？」「長距離トラックなんで、遠くにいます。」
- ⑤ 居留守を使われる。チャイムを鳴らせど返事をするのは犬ばかり。明かりはついているのに…。(ドアの隙間にメモを残して帰る)

- このようなやりとりは、だいたい夜8時から9時頃の話です。会えるまで、これが何度も続くのです。何度訪問しても収穫はなく、挫折感で学校に戻る…。こんなことは担任にはさせられません、担任は保護者との関係が大事だから。

(5) 解決法

角が立たないように穏やかに依頼し続けても、それが裏目に出て滞納が続くという悪循環に陥る。悪質滞納者は手慣れており、もはや学校の限界である。なんとか卒業する前に決着をつけなければならない。逃げ得にはさせない。ではどうするか。

- ① 卒業して2年たつと時効を迎えるので、在籍している間に、支払いについての誓約書を取っておく。(これで時効はなくなる。)
- ② 未納の件を父親が知らないことがあるので、父親と連絡をとってみる。
- ③ 保護者がだらしがないことがあるので、実家の祖父母に連絡を取ってみる。
- ④ 保護者の職場に連絡する。
(滞納している家庭の父親がある省庁の官僚であったが、その職場に連絡したら、翌日には、全額払い込まれたという話をある校長先生から聞いたことがある)
- ⑤ 集金事務を市に移管する。滞納についても市の担当者の方がノウハウを持っているので、あとは市にお任せする。(法的手続きを取る、裁判所による徴収など)
- ⑥ 児童手当から差し引く。(本来はできないが、保護者の申し出があれば可能)
- ⑦ 生活困窮家庭には、就学援助制度の申請をするよう勧めてみる。要保護や準要保護といわれるものです。学校の事務室の担当者に申し出れば、詳しく説明してくれます。認定されると、給食費は全額市から援助されます。

- 子どもの給食をストップして、弁当持参にしてもらおうという自治体が現れたが、それは教育的ではないと思っています。他の子どもからいじめを受けるもとにもなる。子どもに罪はない。「義務教育だから払う必要はない。」と拒否する親には、自分の子どもの胃袋に入るものには、親として払うのが当然でしょうと言いたい。

- 給食費滞納のまま逃げ続ける親は、場数を踏んでいる気がします。もしかして、税金や電気・ガス・水道料などの公共料金の滞納、消費者金融からの借金等もあるような気がするのです。親自身も問題を抱えているのではないか。そうであれば、法的な対応だけでなく、自治体からの福祉の支援が必要かとも思えてくるのです。

7 アレルギー対策

食物アレルギー対応は、命の危険とも関わり、実際に不幸な事故も起こっています。文科省では、平成24年の事故を受け、再発防止の検討を重ね、事故防止のための詳細なガイドラインを作成しています。

アレルギー物質除去食や、代替食の提供が望ましいことはわかりつつも、調理者に望むこと、担任に望むこと、担任不在の時の代替職員に望むこと等多々あり、実情では、いろいろな条件があり対応できない学校も多い。主なガイドラインは次のとおりです。

(1) 安全性を最優先とする。

(2) 組織として対応する。

- ・校長を委員長として「食物アレルギー対応委員会」を校内に設置する。
- ・関係する委員は、副校長・教頭・教務主任・主幹教諭・養護教諭・栄養教諭・学校栄養職員・保健主事・給食主任・関係学級担任・学年主任等。

(3) 医師の診断による「学校生活管理指導表」の提出を保護者に求める。

(4) 保護者との面談を定期的実施する

- ・給食提供の可否（完全提供・対応食提供・部分提供・弁当対応等）
- ・献立並びに詳細な食材情報の提供
- ・持参する弁当やエピペンの学校での保管場所
- ・緊急時の対応、連絡先

(5) 二者択一の給食提供。

- ・原因食物の完全除去対応をするかしないかの二者択一を原則とする。
- ・完全除去対応とは、原因物質を除いた給食をすべての子どもに提供すること。
- ・しないとは、除去しない普通の給食をすべての子どもに提供すること。

(6) 複雑・過剰な対応はしない、多段階対応はしないのが基本。（個別対応はしない）

多段階対応とは、例えば除去食2種類対応や8種類対応のように様々なレベルに対応することで、その場合、業務は複雑となり、事故の心配があるので、除去食は2種類までにするというような単純化した対応です。

(7) 重篤な場合は、保護者に弁当を用意してもらう。

(8) 個別に給食を用意することが可能な場合には、誤配を防ぐため、トレーに表示の札を立てたり、色の違うトレーを用意する、誤食を防ぐため、おかわりはしない。

(9) 学級での指導

アレルギー対応の給食に関わるルールを、他の児童生徒へ説明し、理解を促す。

(10) アナフィラキシーの異変については、教職員の誰が発見者になった場合でも適切な対応がとれるように全員が情報を共有し、常に準備をしておく必要がある。

- 該当の子どもはエピペン注射液（アナフィラキシー補助治療剤）を持っています。緊急時に本人が注射できればいいのですが、意識がしっかりしない場合は、そばにいる職員がエピペンを打つ必要があります。その時にためらってはいは、救える命も救えなくなります。ぜひエピペン操作の実技研修を全教職員で行ってほしいと思っています。これは管理職自らが危機管理の意識を持たないと実現しません。

緊急の場合には、衣服の上からでも注射できます



8 センター方式、自校方式とは

学校給食の調理方式は4つあります。それぞれの特徴について述べてみましょう。

(1) **センター方式** (共同調理場方式) … 給食センターで調理し、各学校に配送する方式。献立は一緒になる。

① 長所

- ・施設・設備・人件費や給食事務を合理化して経費を節減できる。
- ・食材が一括購入のため、コストが安価。

② 短所

- ・各校への配送用の専用車の確保が必要。
- ・配送時間が長い学校は、適温での運搬は難しく、食味を損なう。
(文科省が推奨するのは、出来てから2時間以内での食事完了)
- ・食数が多く、食中毒が発生した場合には、広範囲に及んでしまう。

(2) **自校方式** (単独校調理場方式) … 各学校の給食室で給食を調理する方式。献立はそれぞれの学校で決める。

① 長所

- ・配送時間がないため、温かい給食が提供できる。
- ・冷凍食品はほとんど使わず、調理に時間をかけることができる。
- ・独自の献立が作れるため、地元農家からの食材調達が比較的容易。(地産地消)
- ・短縮授業等で給食時間が早まっても、柔軟に対応できる。
- ・学校の行事に合わせ、弁当箱方式にすることも可能。(お花見弁当等)
- ・アレルギー対応の除去食、代替食の提供が可能。
- ・災害時、避難場所としての炊き出し拠点として利用できる。
- ・調理者にとっては、給食の評判が聞こえてきて励みになったり、子ども達にとっては、調理者とのふれあいを通して感謝の気持ちを育むなど、効果は大きい。

② 短所

- ・設置には大規模改修が必要で、費用と時間がかかる。
- ・各学校への栄養士、調理員の配置が必要で、人件費がかかる。

(3) **親子方式** (統一献立方式) … 1つの学校(親校)の給食室で調理し、近くの学校(子)に配送する方式。親子は同じ献立となる。

- ・自校方式とセンター方式の中間の特徴(長所)がある。
- ・配送費用がかかる。

(4) **デリバリー方式** … 民間の調理業者から配送される方式。

食缶で提供する方式と弁当箱で提供する方式とがある。

① 長所

- ・弁当で提供する方式の場合、短時間で配膳することができ、また食数の流動化に柔軟に対応できる。

② 短所

- ・各校への配送が必要で、温かい状態での運搬は難しい。
- ・食缶で提供する方式の場合、配送時間が長いと、献立によっては食味を損なう。

9 千葉県の給食実施状況

平成30年5月1日現在

	小学校	中学校	義務教育学校	特別支援学校	計
センター方式	389	241	1	3	634
自校方式	397	134	1	36	568
デリバリー方式	0	2	0	0	2
親子方式	(3)	(18)	0	(1)	(22)

* 数字は学校数。

* 義務教育学校とは、小中一貫校で、市川市と成田市に1校ずつあります。

* 親子方式校は、自校方式に含まれている校数です。

10 今後の給食方式は

どの自治体でも共通しているのは、自校方式への移行が望ましいと考えていることです。しかし問題は施設整備・運営費用です。したがって校舎の大規模改修工事と合わせて今後数十年かけて自校方式に順次移行していく市や、当面はセンター方式を継続しつつ親子方式に移行する市などさまざまである。

● 担任にとって給食時間は、給食準備や食事中の指導や片付けの指導とかで、時間に追われて、しかも雑然とした机の上で食べるわけで、時には、係の子が担任の分の準備を忘れて、配膳し終わった子どものおわんからちょっとずつ集めて担任の分を作るという悲惨な状況もあり、とても味わっている時間ではないというのが実情です。

「ちょっとずつ集める」で思い出したのですが、昔給食にメロンが出たことがあって、種がついたままでした。生徒達は種を分けて実だけを食べていたのですが、それを見て私は「もったいない、種の周りが一番甘くておいしいんだぞ。」と言って種ごと食べていたら、しばらくして、「先生どうぞ。」とある生徒がおわんを2つ持ってきました。そこにはなんと、種だけが山盛りに入っていました。「どうしたの？これ。」と聞いたら「みんなからの差し入れです。」と…面白いことを考える連中だと笑ってしまいました。結局途中まで食べたけど、さすがに全部は食べきれませんでした。種だけだから。